

倫理審査委員会議事

1. 日時 平成30年3月15日(木) 15:12 ~ 15:40
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 副院長、薬物依存治療部長、精神科医師(長嶋先生)、事務部長、薬剤科長、看護部長、矢崎外部委員、庶務班長(書記)

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨
課題名 精神科救急病棟における患者心理教育の取り組みと有効性の検討 ~クライシスプランを取り入れた取り組み~
(申請者 看護師(2-1病棟) 三浦 翔(新規))

申請者

○ 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

○ 同意説明文書はどれになりますか。

申請者

○ 同意説明文書については、作成していますが、資料には添付していませんでした。

委員

○ クライシスプランを作ることで、前後のスケール(3時点)で変わるかどうかをみるということですか。

申請者

○ クライシスプランを含めた疾病教育を行って、前後でどう変わるかをみます。

委員

○ 調査対象を70~80人にしているのはなぜですか。

申請者

○ 過去の実績も踏まえ、1年で調査できる調査数としています。

委員

○ 退院直前に病院へ通う、全く自信がない等マイナス思考になった場合はどうするのですか。退院が長引くといった不利益はないですか。

申請者

○ それはそれで結果として取り扱い、またこれで退院が長引くようなことはありません。

委員

○ クライシスプランは、誰でもできるものですか。

申請者

○ 患者主体で作成してもらいますが、いきなり作れるものではないので、研究者は勉強会も行って、元々3病棟で行っていたものでもあるので、また3病棟にいた看護師も研究者の中にはいるので、一緒に作っていくことになります。

委員

○ 対応する者によって、出来映えに差が出たりしませんか。

申請者

○ なるべく差が出ないようにします。

委員

○ 同意撤回書はどこに置いておくのですか。

申請者

○ 同意書のコピーを渡すときに同意撤回書も渡します。

【審査結果】

課題名 精神科救急病棟における患者心理教育の取り組みと有効性の検討
～クライシスプランを取り入れた取り組み～
承認してよろしいか。
→承認とする。

課題名 精神の病気を持つ人に対する『ヨガ』の精神的ストレス軽減効果
の検討
(申請者 看護師(2-2病棟) 小林 芳会・永久 慶彦(新規))

申請者

○ 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

○ 平均値を取ってとはどういうことですか。

申請者

○ ヨガの前後だけで良いというのが、これまでの見解でしたが、唾液アミラーゼ自体が、交感神経や自律神経にかなり影響するので、個人差が元々あるようです。ヨガの前にその人が平均でやっているのかどうか、元々高くてヨガをした後に測定しても分からないので、事前にその者の7回分の平均値を測定しておいて、それをベースに前後にもう1回測定し、統計にかけたいと思っています。

委員

○ 予定症例数はどれ位でしょうか。

申請者

○ 30名はいないと分析にはかけられないと思っています。

委員

○ アミラーゼ測定に1回いくら位掛かるのですか。

申請者

○ 検査キット本体は15,000円位で、チップが20枚入りで2,000円位です。

委員

○ 費用はどこから出ているのですか。

申請者

○ 以前の倫理審査委員会の後で、2-2病棟がストレスケア病棟ということもあって、今後アミラーゼで評価することもあるかもしれないということで、病院で購入できるように病棟師長が調整するということになっています。

委員

○ 費用の出所を申請書に明記した方が良いと思います。すでに購入しているのですか。

申請者

○ 当委員会承認後に購入する予定で考えています。

【審査結果】

課題名 精神の病気を持つ人に対する『ヨガ』の精神的ストレス軽減効果
承認してよろしいか。
→承認とする。

以 上